2024 年 9 月 10 日
JICA バヌアツ支所

JICA 海外協力隊
赴任前留意事項

バヌアツ共和国

※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合には JICA は責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料は JICA 海外協力隊を対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があります。

目次

１．　赴任渡航時の留意事項（Ｐ２）
（１）赴任時に必ず持参するもの
（２）オーストラリア経由時の注意
（３）バヌアツ入国時の注意

２．　別送荷物について（Ｐ３）
（１）　アナカン・郵送等の利用について
（２）　通関情報について

３．　通信状況について（Ｐ５）
（１）　パソコンの普及状況
（２）　携帯電話の普及状況

４．　現金の持ち込み等について（Ｐ６）
（１）　現金持込にかかる注意
（２）　両替状況
（３）　赴任時に用意することが望ましい金額について

５．　治安状況について（JICA の安全対策については、隊員ハンドブックを参照）（Ｐ７）

６．　交通事情について（Ｐ７）

７．　医療事情について（Ｐ７）
（１）　予防接種
（２）　医療機関
（３）　医薬品、衛生用品
（４）　現地での傷病

８．　防蚊対策について（P10）

９．　任国での運転について（P10）

１０．お問合わせ（P10）

１１．その他（P10）
（１）　電気製品等について
（２）　現地での服装について
（３）　住宅事情

１．　赴任渡航時の留意事項

（１）赴任時に必ず持参するもの

◎公用旅券（汚れや紛失防止のためパスポートホルダーに入れ携行下さい。）
◎バヌアツ国発給の受入確認文書（※注）
◎派遣に関する合意書
◎隊員ハンドブック
◎Health & Medical Record ＝ピンク色の冊子
◎国際協力共済会・会員ハンドブック
◎当座の生活費

長期隊員の場合には着任後直ぐに銀行口座を開設し、開設される口座宛に月次現地手当の定期送金が開始されます。その送金が開始されるまでの期間（2 週間～1 か月）に必要な当座の生活資金確保（標準的には米ドル現金）をお願いします。また、生活基盤構築のため（提供住居に備わっていない）家財等の購入を希望する場合には必要資金を加算ください。実例としては 10～25 万円程度の現金を赴任時に持参するケースが多いようです。

短期隊員（180 日以内）の場合は任期分全額が事前に国内振込され、現地での銀行口座開設も定期送金も行われません。様々な持ち込み方法があるとは思いますが現金での持ち込みを行う場合には 100 万バツ（円貨換算：約百数十万円）を超える持ち込みは法律で禁止されているため避けてください。

短期隊員（181 日以上）の場合は、181 日以降の現地手当を着任後に開設する銀行口座振り込みで受け取ることも可能です。）

◎スーツ又はジャケット（男性の場合ネクタイも）（公式行事等に着用）

※注）受入確認文書（英文レター）は日本での空港チェックイン時・経由地・バヌアツ入国時に都度提示を求められるため、公用旅券と同じく預入荷物に入れず携行ください。バヌアツ到着時の入国審査場には「Residents」「Visitor」の 2 種類の列がありますが「Residents」に並んでください。公用旅券にスタンプ（援助関係者に発給される“DSV”と呼ばれるビザ）を受けた後、手書きされた有効期限（任期を満たしているか等）を必ずその場で確認ください。（稀に誤記入があります。）
なお、日本の出国審査が電子化され、旅券に出国スタンプが押されないことが標準となりましたが、係官に申し出て出国スタンプを押してもらっておいてください。

（２）オーストラリア経由時の注意

オーストラリアは検疫及び荷物チェックが特に非常に厳しいため経由する場合には注意ください。乗り継ぎカウンターで手荷物検査が必要である他、8 時間以上の乗り継ぎ時間がある場合や乗継ぎ先の航空会社との提携状態により、全預入荷物を一旦引き取り、荷物と共に入国し、乗継便にチェックインし、再度出国検査を受ける必要があります。その場合、トランジット目的であってもビザ免除されないため、渡航前に電子ビザ取得を済ませておく必要があります。電子申請はスマホアプリ「Australian ETA」から行いますので、アプリをダウンロード（Google play・App Store）し各自にて申請を済ませてください。この申請は旅券と紐付ける必要があるため公用旅券発給後の作業

となります。（詳細は Subclass 601 Electronic Travel Authority (homeaffairs.gov.au)を参照ください）。

・オーストラリア検疫：詳細は以下のサイトをご参照ください。
検疫 (embassy.gov.au)

・食料品：食料品（日本食含む）が（検疫上の理由等で）没収されることがあります。

・酒類等の液体物：本邦空港免税店で購入した酒類等の液体物は、手荷物状態では乗り継ぎに没収される恐れがあります。液体物の購入は経由地出国後の免税エリアで行うことが無難です。

・危険物等持ち込み禁止物品：逮捕の可能性のみならず、容易に入国拒否を受ける可能性があり、その場合 3 年間はオーストラリアへの入国が禁止されます。

（３）バヌアツ入国時の注意

入国カードに「Food any kind」という申告欄も見られ海外からの食品持ち込みには比較的神経質であるよう思われます。食料品を持ち込みたい場合は入国カードにチェックを入れ申告し、係官の見分を受け、税金が課された場合には支払いください。支払うことで持ち込みが許可されます。もしくは税金が高額で払えない場合には放棄することで支払いは免除されます。

なお、海産物（「わかめ」「のり」他の乾物各種）は基本的に没収対象ですが、幸い首都市内の小売店では正規手続きを経た海産物や日本食品も一部購入可能ですので、現地購入も選択肢としてください。

また、動植物、キャンプ用品、中古スポーツ用品等の他、全世界で標準的なアルコール、香水、たばこ類の持ち込み制限等、詳しいルールは以下のサイトをご参照ください。
Vanuatu Tourism Office - Quarantine | Travel Information | Planning | Vanuatu Tourism

また、日本の一般週刊誌に掲載されているグラビア類であっても、当国の価値観では公序良俗を乱す違法との判断が課される場合もあるため、文化・風習への十分に配慮ください。

２．　別送荷物について

（１）アナカン・郵送等の利用について

荷物の輸送は、アナカン・国際宅配便（郵便）となり、それぞれ手続き・サービス内容が異なりますので、ご自身で良くご確認下さい。留意点として、荷物が届くまでの期間が状況により大きく変わる可能性があり、任地にて直ぐに使用する予定の物は携行荷物としてご持参されることをお進めします。

・携行荷物同様、動植物を持ち込むことはできませんので、荷物に入れないでください。

・食料品は、別途課税されることがあります。内容物に「海産物」「のり seaweed」などが含まれていると、通関の際に、没収、もしくは、数千円以上の税金を課せられる場合があります。

・送付先には事務所住所をご記入ください。（宛先には自分のお名前を必ずご記入ください。）

＜記入例＞

To：　Ms. Vanu Atuko
c/o JICA VANUATU OFFICE,
4th floor, Air Vanuatu Building,

PMB 9005, Port Vila,　VANUATU
Tel. (678)-23546

●郵便
郵送については、以下から確認できます。

国・地域別の差出可否 - 日本郵便 (japanpost.jp)
バヌアツへの EMS や SAL 便はコロナ禍以前からありません。現在航空便と船便が利用可能です。荷物が届くと、事務所にバヌアツの郵便局から「引取り通知（Item for Collection」が来ます。その紙を基に各自郵便局へ引き取りに行っていただきます。通関、関税等の手続きと必要経費は、荷物の大きさ、商品の値段によって異なります（次項（２）通関情報を参照）。2021 年 1 月 1 日（金）から通関電子データの送信が義務化されました。物品を内容品とする国際郵便物を手書きのラベルなどで差し出されると、通関電子データが送信されないため通関の遅れや返送のおそれがあります。通関電子データ送信「推奨」対象国に該当しますので、発送時に各自ご確認下さい。

●宅配便及び別送手荷物（アナカン）
民間の宅配便業者を利用したアナカンもこちらに含まれます。事務所に連絡が来て、ポートビラ通関局での通関手続きが必要となります。
送付可能な内容物については、運送業者へ直接問い合わせ願います。到着に要する日数は荷物の多少、経由地により異なりますので、早めの手続をお勧めします。（大量の荷物を送る場合、通関書類の作成が遅くなって引き取りに時間がかかるのと、保管料金を取られることがありますので、次の項をよく読んでご準備ください）。

（参考情報）
25 kg ボックス - 配達 | FedEx 日本
フェデックス 10kg・25kg ボックス運送料金表

（２）通関情報について
●郵便で送る場合、航空便で約数週間程度かかります。また、経由地で開封されることや、中身を盗まれることなどのトラブルがありえます。内容物の価格等の必要項目の記入は必ず行ってください。未記入の場合、通関処理ができないという理由で、荷物の受け取りができない場合もあります。任期中に荷物を送る可能性のある場合、留守家族等にも充分ご説明願います。
荷物の引き取りは、事務所に届いた「引取り通知（Item for Collection」を持って、郵便局へ取りに行きます。その際に、関税の金額が提示されます。関税は、内容物、個数及び重量により異なり、これらは郵便局の担当者により判断が異なる場合があります。宅配便と同様、手数料と日数（2 週間程度）がかかることをご了承ください。

●アナカン（宅配便で送る場合）
通関手続き（免税通関）が必要となり、着任後 6 ヶ月間以内は、通関輸入税の免税措置が受けられます。荷物受取の際、通関業者へ免税手続きのための書類作成費用、受け取り手数料等の支払いが必要です。免税手続きのための書類作成費用、受け取り手数料等がかかり、多い場合（5 箱を超えるような場合）は高額となることもあります。
手続きは、早くても 2 週間程度かかります。少しでも円滑な荷物の引取りを行うには、

日本から荷物を発送した時点で送り状（インボイス）の写しと AWB（航空送付状）または B/L（船荷証券）をバヌアツ支所宛に、PDF ファイルにてメール添付でご連絡ください。(内容物によっては、P/L(梱包明細)や C/O(原産地証明)が必要になります。) 連絡の際には、隊次、氏名を忘れずに明記してください。食料など一部の内容物は、発送前に通関局に届出が必要となりますので、ご注意下さい。基本的に、発送後から荷物が到着する前までの間に、免税手続きを行われなければなりません。

着任して 6 ヶ月以内に、留守宅家族等が荷物を送る場合も、同様の手続きを要しますので、送り状（インボイス）の写しは大切に保管するよう伝えてください。

●個人荷物の引き取りなどに関する事務所の支援内容

バヌアツ国内における個人荷物の引き取りに関する経費負担は、各自の責任となります。事務所は情報提供や免税手続きのサポートは行いますが、荷物引取りに関しては基本的にご自分で行っていただいております。

３． 通信状況について

（１）パソコンの普及状況

●現地で購入可能な PC

英語版のデスクトップ型、ラップトップ型 Windows 機は購入可能ですが、日本語ソフトの利便性等を考慮すると本邦から持参されることをお勧めします。価格は以下一覧を参照ください。但し、機種の種類は限られます（種類が少なくかなり割高ですが、Mac 機及びその周辺パーツも購入可能です）。また、日本語版の各種パソコンソフト（CD 等）は購入できないため、事前に日本で購入するか、ソフトによってはオンライン等で購入することになります。パソコントラブルに備え、パソコンの OS ソフト、リカバリーディスク等も忘れずに持参してください。

参考（デバイス価格 2023 年 9 月調べ）

モデル	仕様	VUV (computer world)
Lenovo TB14S-Y2 T 17	512GB	158,995
HP ZBook Firefly	256GB, SSD, 14-inch	123,995
HP 15-DY2703	512GB, SSD, 15.6-inch	94,995
Samsung Galaxy Book Go 14	64GB, SSD, 14-inch	31,995

●インターネットへの接続

固定回線を使った ADSL 及び光回線（自宅用）、モバイル Wi-Fi ルーター（月極契約、プリペイド式）、スマホ携帯電話を介したテザリング接続など、さまざまな選択肢があります。主なサービス提供会社としては、下記の 3 社があります。各社提供のサービス内容については随時更新されるので、各自上記 HP 等から情報を取得してください。

① Digicel ： Digital Experiences Made For Vanuatu | Digicel Vanuatu (digicelpacific.com)
② Vodafone：Vodafone Vanuatu
③ WANTOK：WanTok - Simple, Reliable & Affordable ICT for Vanuatu

●海外でのパソコンの使用について

・海外で故障した時の保証や修理などメーカーの注意事項等を事前に調べておくことをお勧めします。
・その他の留意事項に関しては、「その他（１）電気製品等について」を参照下さい。
・ネット接続が不可能な地域を除き、事務所からの連絡、書類のやりとりなどは主に、E-Mail または、携帯電話の SMS 等を利用しています。

（２）携帯電話の普及状況
・全隊員に、安全確保を目的にスマートフォンを貸与しています。
・バヌアツで貸与されるスマートフォンは、Dual SIM 対応 (一つの端末で異なる通信会社の SIM カード 2 枚を利用可能)の機種で、2 社の異なる通話圏で通話が可能です。
・通話料、データ通信料は個人負担となります。国際電話の受発信（時間帯によって異なりますが、日本までの通話料金は 1 分 50～70 バツ）も可能です。
・日本の携帯電話は海外ローミング対応の GSM/3G/4G 対応携帯電話であれば利用可能ですが、高額であるため、利用に際しては各自でご判断願います。
・僻地では、いずれの通信会社の圏外になる地域があります。安全確保のため原則、携帯電話が繋がらないエリアへの移動を制限しています。

参考（スマホ価格　2023 年 9 月調べ）

モデル	仕様	VT (computer world)
Iphone 14 Plus	256GB	169,995
Saumsung A34	128GB	49,995
Samusung A24	128GB	37,995
Redmi 12C LTE	128GB	25,995

４．　現金の持ち込み等について

（１）現金持込にかかる注意
総額 100 万バツ以上の現金を持ち込む場合には事前申告の必要があります。

（２）両替状況
・現金の両替：バヌアツ国際空港内の両替所、銀行、市街の両替所等にて外貨の両替が可能です（日本円、米ドル、豪ドル、ユーロなど）。
・銀行の営業は月曜～金曜です。市街の両替所は土曜日の午前中も開いています。
・交換レート：
※最新レートは下記サイト等でご確認ください。

Currency Converter｜Foreign Exchange Rates｜OANDA

・クレジットカードや海外対応キャッシュカードの使用：
首都とサント島のルーガンビルでは、一部の ATM 及び銀行窓口で、クレジットカードまたは、日本の都市銀行の海外 ATM 対応のキャッシュカードで、日本の口座から現地通貨にて現金の引き出しが可能です（手数料がかかりますのでご注意ください）。ホテルや高級レストランなどでは、VISA・MASTER 等のクレジットカードの使用が可能ですが、手数料が 3～10%上乗せされます。

（３）赴任時に用意することが望ましい金額について

（長期隊員）

着任後、赴任した月を含む四半期分として事務所から生活費が支給されます。しかし、銀行口座の開設に合わせて入金されるため、赴任後 2～6 週間かかります。当座の生活費および生活準備金として 25 万円分程度の米ドルを準備しておくことをお勧めします（冷蔵庫などの大型家電等の購入費用は含まず）。

（短期隊員）

長期隊員と異なり、短期隊員は現地での生活費の支給はありません。赴任前に日本の指定口座に振り込まれた外国旅費、内国旅費および外国日当から現地での生活に必要な分を持参してください。上述４.（2）の通り、クレジットカードの利用も可能で、それを踏まえて持参する現金額をご準備ください。任国における生活費の目安ですが、日本での生活費を参考にしてください。（任国では日本よりも安価な物もありますが、日本と同程度あるいは割高な物も少なからず目にとまります。）

５．　治安状況について（JICA の安全対策については、隊員ハンドブックを参照）

・バヌアツは他国に比べると治安は良いですが、悪化傾向にあります。途上国で生活するにあたって遵守すべき基本的な注意事項を頭に入れ、日常生活において用心を怠らないようにしてください。ほとんどの犯罪被害、特に重大な被害は、基本的な防犯対策を怠らなければ未然に防げます。

・一般に性犯罪と空き巣が多いという傾向があり、凶悪犯罪も稀に発生しています。近年は飲酒・マリファナ等を起因とする犯罪が増加しているほか、クリスマス休暇前後や長期休暇の際には窃盗・空き巣が増えるので注意が必要です。日中・夕方に被害に遭う可能性もありますが、特に夜間（暗くなった後）や早朝の単独での外出は絶対に避けてください。

・外国人女性が被害となったレイプ事件も毎年発生しています。

６．　交通事情について

現在隊員は、首都のあるエファテ島及びサント島（ルーガンビル市のみ）に派遣されています。ポートビラ市内ではバンタイプの小型乗合いバスが利用できます。（市内は一律 150 バツの均一料金。2024 年 2 月時点。）ルーガンビル市内ではタクシー及びバンタイプの小型乗合いバスが利用できます。（タクシー：市内は一律 200 バツ、バス：１人 150 バツ。2024 年 2 月時点。）

早朝、夜 7 時以降、悪天候の時は、バスは少なくなります。夜間等にやむを得ず移動しなければならない時は、事前にタクシーを予約するなどの手配をするようにしてください。

また、バヌアツは、日本とは違って、車両は左ハンドル右走行であり、日本のような「歩行者優先」という概念はなく、多くのドライバーは歩行者がいても、止まることはありません。横断する時には特に注意が必要です。

ポートビラ市内及びルーガンビル市内は、坂も多く交通量も多いことから、自転車の使用を禁止しています。

７．　医療事情について

バヌアツの医療水準（医療設備、技術、診断能力や医療の質）は日本や他地域に比べると非常に劣悪です。加えて、天候や航空機の整備不良等により島間移動や国外移動が速や

かに行えないことも少なくありません。このような背景から日頃から健康管理が大変重要で、安全と同様に「自分の身は自分で守る」よう、赴任前から意識づけるよう心がけてください。また赴任中に傷病があった場合は早めの対応（受診、相談）を心がける必要があります。またバヌアツでは、医療費はかなり高額となりますので、できるだけ日本で治療を終えられてくることをお勧めします。

新型コロナウィルス感染症については、2020 年から開始された厳格な渡航制限の措置によって、バヌアツ国内では、2022 年 2 月末まで市中感染「0」を維持していましたが、2022 年 3 月初旬に初の市中感染が発生し、4 月上旬がピークとなり夜間外出禁止令やエッセンシャルワーカー以外の外出禁止措置が取られました。その後、感染者数は減少し、2022 年 11 月時点では、政府の発表で感染者数はほとんど報告されていませんが、コロナがなくなったわけではなく、散発的な報告があります。

上述のとおり、医療水準が低いこと、また入院療養可能な十分な施設が整っている病院はないに等しい為、いずれの傷病に関しても、予防と早期対応が肝要となります。不織布マスクや手指消毒液は、薬局やスーパーマーケットなどで入手可能ですので、日頃から手洗い励行などの感染予防対策は引き続き徹底するようにしてください。
感染が拡大した時には、基本的には、バヌアツ政府が定めた感染対策に従うことになりますが、感染の状況によっては、会食や不要不急の行動を控えて頂く場合もありますので、バヌアツ支所からの指示・連絡に従ってください。

（１）予防接種

●以下のワクチン接種は任意ですが、罹患するリスクがあり、接種を推奨しています。接種歴を踏まえ、医師のご相談の上、接種をご検討下さい。

-A・B 型肝炎、破傷風、腸チフス、麻疹

（参考）厚生労働省 FORTH｜国・地域別情報

（なお、腸チフスは現在、バヌアツでは在庫はありません。）

（２）医療機関

●公立病院

・ポートビラ市にはビラ中央病院、サント島には北部州病院がありドクターが常駐しています。
・バヌアツでは、限られた診察・検査しかできません（CT スキャン・MRI 検査、脳波・運動負荷心電図・ホルター心電図等の検査や透析治療（血液・腹膜）は不可）。また、血液検査についても、試薬切れや検査器の故障で検査ができないことがあります。
・バヌアツで検査できない検体検査（血液・尿など）は海外の検査機関に送ることがありますが、検査結果判明までに 1 週間から 1 ヶ月かかることがあります。
・ICU 室は、ビラ中央病院の外科病棟内に 2 床にあります。輸血は、全血輸血のみ可能(血小板輸血は不可)ですが、バヌアツ国内での輸血は安全性に不安があるため緊急時でない限り受けない方針としています。
・専門医が少なく、オーストラリア、中国政府等から派遣された契約医師（ボランティア含む）がメインのため、治療可能な科目は限定されます。
・公立病院の診察料は 300VT～、検査費や入院は数千円程度かかります。
・医療施設は清潔感に欠け、スタッフの医療サービスの質は低く、病院内は常に混雑しており、長時間待たされることも稀ではありません。

●私立病院

・民間の医療機関はポートビラ市とルーガンビルに、数件のクリニックと薬局がある程度です。開業医と薬剤師のほとんどは、バヌアツ在住の外国人で占められています。レントゲン・超音波検査が可能なクリニックもあります。薬が必要な場合は、医師から処方箋を貰い、薬局で薬を購入することになります。
・オーストラリアへ検体を送付する場合は、検査判明まで数週間かかることもあります。

●歯科および眼科
・歯科治療は、ポートビラ市に私立の歯科医院が数軒あり、治療が可能ですが初期の齲歯治療、詰め物の再装着などの簡単な治療以外は勧めていません。また治療費は非常に高額で、詰め物が取れて再装着する場合でも約 10,000 円かかる場合があります。赴任前に必ず歯科検診を受け、義歯の微調整や疾患があれば治療を完了しておいてください。
・ポートビラ市に眼鏡店があり、検眼・処方、単純な眼鏡やコンタクトレンズ作成、1 日使い捨てコンタクトレンズ（アキビュー30 枚入り約 3500 円）や洗浄水も販売されていますが、在庫が安定しない場合もある為、予備の眼鏡やコンタクトレンズを持参することをお勧めしています。
また、普段コンタクトレンズのみ着用の場合でも、土埃（珊瑚粉塵）で着用が困難であったり、離島では清潔な水の確保が困難であったりする為、眼鏡を持参し必要に応じて使用することを勧めます。

（３）医薬品、衛生用品
●医薬品の購入
ポートビラ市内の薬局でオーストラリア、フランス製などの医薬品の購入が可能です。胃腸薬、解熱剤、総合感冒薬、眼薬、サプリメントなどは、処方箋無しで購入可能です。慢性疾患治療薬や抗生物質（抗生物質入りの軟膏や目薬含む）は、処方箋が必要です。在庫が一定しておらず、在庫がない時は海外にオーダーするため数週間かかることもあります。

●携行することが望ましい医薬品
・常用している持病（アトピー性皮膚炎、痔）の薬、使い慣れた日本の医薬品（虫刺されの薬や胃腸薬、目薬など）などを必要に応じて持参してください。慢性疾患治療薬については、日本と同じものを入手できないため必ず持参してください。現地で受診や投薬が必要な方は英文の診断書や薬剤情報を持参して下さい。
・日本で多く売られている解熱剤や風邪薬（アスピリン系・バファリンなど）はマラリアやデング熱にかかった際、病状の悪化、病気の判定を難しくさせるため、発熱直後、病気が判明しないうちは服用できません。
・マラリアやデング熱の際に使用しても問題のない解熱鎮痛剤はアセトアミノフェン系（商品名：タイレノール、パラセタモール、カロナール等）でバヌアツでも入手できます。

●現地で調達できる衛生用品
生理用品（タンポンは時々入手可）、避妊具（コンドーム）、マスク、包帯、ガーゼ、昆虫忌避剤（スプレー、ロールタイプ）、蚊取線香、殺虫剤、日焼け止めクリーム、消毒液、蚊帳も入手可能です。

（４）現地での傷病

・バヌアツはマラリア及びデング熱の汚染地域です。「マラリアの ABC」及び「デング熱の ABC」等を熟読の上、予防と治療についてしっかりと学んでおいてください。

・皮膚病として、虫刺されや傷跡などが化膿し隆起する蜂窩織炎（ほうかしきえん）（俗名：ボイラ）がよくみられます。対策は虫刺されや擦り傷などの掻き壊しに注意し皮膚を清潔に保つことになります。真菌症や疥癬、ダニによる皮膚疾患も多いです。

・寄生虫症も多くみられます。

・急性上気道感染症（扁桃腺炎、感冒など）や下痢、腹痛等の胃腸疾患もよくみられます。

・日差しが強く、高温多湿の気候のため、熱射病、脱水などに陥りやすいので注意が必要です。

・シガテラ中毒（魚食による食中毒）も時折発生しますので、リーフフィッシュを食べる際には注意が必要です。・汚染された川の水や土壌などを介して感染する細菌性の人獣共通感染症であるレプトスピラ症も発生しています。

８．　防蚊対策について

バヌアツはマラリア及びデング熱の汚染地域であり、首都やルーガンビル以外の離島や村落部では特に注意が必要です。マラリアやデング熱予防は、蚊に刺されないようにするのが一番の予防です。蚊帳や虫よけスプレー等の防蚊対策物品はバヌアツで購入できます。

また、離島に派遣される隊員で希望者にはマラリア治療薬を赴任時に配布します。

９．　任国での運転について

バヌアツでは、運転は認めていません。

１０．　お問合わせ

任国での活動に関する質問は、以下のボランティア班共有アドレス宛にメールでお問い合せください。

【宛先】ボランティア班共有アドレス：　Vanuatu_VC@jica.go.jp

【件名】赴任前問い合わせ（氏名）

※長期隊員の方は、お問い合わせは派遣前訓練が開始してから行ってください。

※活動に関わる内容以外の質問はお控えください。

１１．　その他

（１）電気製品等について

・電圧は 240V 50Hz です。プラグ形状は O 型もしくは O2 型です。

・240V から 100V への変圧器はバヌアツでは購入できないので、日本で購入し持参することをお勧めします。

・時々、停電が発生し、回復時に定格（240V）以上の電圧が一時的に流れることがあるため、パソコンを利用する場合は、サージプロテクター（過剰電圧防護装置）と呼ばれる機器を利用することをお勧めします。製品の種類は少ないですが、現地購入が可能です。

・その他、種類は豊富ではありませんが、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テレビ、ステレオ等電化製品が購入可能です。価格は仕様や購入店によって異なりますが、日本と比較して、同額から 3 倍程度となります。

（２）現地での服装について

当地での服装は、職場にもよりますが、男性は襟付きシャツ（ネクタイ無し）及び半ズボン、女性はシャツ及び膝下丈のスカート、アイランドドレスが一般的です。（中央省庁が職場の場合あるいは訪問の際に、ジャケット着用が現時点で義務付けられています。表敬訪問で必要なので、ジャケットは必ずご持参ください。）当地の商店でも洋服は購入できますが、日本に比べて高価です。現地の服装であるアイランドシャツ（男性用）及びアイランドドレス（女性用）は比較的安価です。地方では女性がズボンを履くことを好まない村があります。女性隊員は、性犯罪から身を守るためにも、アイランドドレスや丈の長いスカートを着用するなど、肌を露出しない服装を心掛ける必要があります。

履物については、廉価なビーチサンダルを除き、サイズ、品数ともに限られており、希望どおりの物を購入することは難しいと言えます。必要に応じて日本から持参することをお勧めします。

（３）住宅事情

・着任直後（オリエンテーション期間）は、JICA 支所の近くのホテルを利用します。
・活動開始後は、原則としてバヌアツ政府との取極めで用意された配属先提供の住宅（職員住宅等）に居住することになります。配属先から住居の提供がない場合は、JICA が民間住宅を契約し、住居費を支払います。隊員は契約上テナントとして使用します。
・家具や生活用品の備え付けは住居により異なりますが、洗濯機や冷蔵庫等が必要な場合はあらかじめその分の費用を準備しておくことをお勧めします。
・住居の安全に関しては、JICA 支所が契約している安全対策クラークが確認し、必要であれば窓への防御柵の設置やドア錠の増設など、十分な対策を支援します。

以上